

2024 年度 産学官・会員校代表者等交流会

「今、大学がなすべきことは何か」 — 社会が求める能力の育成 —

一般財団法人全国大学実務教育協会では、例年会員校の代表者を中心とした方々の情報交換・交流とネットワークのために産学官の講演及び交流会を開催しております。

昨年度は、当協会設立50周年記念行事の一環として『Society5.0に向けた大学の人材育成への期待』をテーマとして、文部科学省高等教育局企画官（併）高等教育企画課高等教育政策室高見英樹室長及び日本経済団体連合会 SDGs 本部池田三知子本部長から大変有益なご講演をいただきました。

本年度の産学官・会員校代表者等交流会は、昨年度の講演を踏まえて、下記のとおり基調講演及びパネルディスカッションを行います。

会場またはリモートいずれの参加でも可能です。参加ご希望の方は、QRコードからお申し込みください。

記

1. 日時 2024年12月13日（金）
14:30～17:00
2. 場所 アルカディア市ヶ谷 7階「妙高」
（※ウェビナー同時開催）
3. 講演
●文部科学省 高等教育局大学教育・入試課 課長補佐 山田研市氏
●株式会社毎日新聞社 取締役常務執行役員 砂間裕之氏
4. パネルディスカッション

※お申し込みはこちらから

以上



<お問い合わせ先>

TEL 03-5226-7288 FAX 03-3263-8633

E-mail: jaucb@jaucb.gr.jp

〔講演〕

㊦ 文部科学省 高等教育局大学教育・入試課 課長補佐 山田 研市 氏

「高等教育政策の動向について」



㊦ 株式会社毎日新聞社 取締役常務執行役員 砂間 裕之 氏

「企業が大学に期待すること
－企業が求める大学教育・学生－」



1985年、毎日新聞社入社。大津支局、奈良支局、大阪本社社会部などで、主に医療をテーマにした調査報道や文化財報道などに携わった。その後、大阪、東京両本社の人事部長や大阪本社社会部長、大阪、東京の編集局長を歴任。その間、戦後60年報道や戦後70年報道に取り組んだ。執行役員編集編成担当を経て、現在は取締役常務執行役員。埼玉県出身。

〔パネルディスカッション〕

◇ 株式会社シンクアップ^o 専務取締役 山下 研一 氏



東京大学農学部農業生物学科卒業。企画会社「クリエイトハウス」経営を経て、学校法人聖学院で広報センター所長、広報局長を歴任。退職後2017年にAIの動向から統計教育とデータサイエンス教育の重要性に着目し、「新しい構想に基づく大学の創設」を目的に株式会社シンクアップを共同創業。学校広報および学生募集のコンサルテーションを行う。2011年より学校広報ソーシャルメディア活用勉強会（通称 GKB48）事務局長。

◇ 大手前大学 学長 平野 光俊 氏



早稲田大学卒業。神戸大学大学院博士課程 修了。博士（経営学）。神戸大学教授を経て大手前大学副学長。2022年4月より現職。神戸大学名誉教授。経営行動科学学会会長、日本労務学会副会長など歴任。企業との共同研究の実績多数。労働政策審議会委員などの活動を通して労働政策の立案にも関わってきた。専攻は人的資源管理論、組織の中の人間行動論。

◇ 常磐大学・常磐短期大学 学長 富田 敬子 氏



東京女子大学文理学部社会学科卒業。米国 Georgetown University 大学院人口学修士課程修了。米国 Fordham University 大学院社会学博士課程修了。1988年、ニューヨークの国連経済社会分析局入局。バンコクの国連アジア太平洋地域経済社会委員会勤務を経て、2009年よりニューヨークの国連経済社会局統計部次長を務めた。2019年4月より現職。併せて国連国際人口移動統計専門グループメンバー、総務省統計委員会委員、茨城県教育委員会委員。

◎ 司会 清水 一彦（当協会代表理事・副会長、 松本大学・松商短期大学 学長）